



## ローマ会議の同意自公2.0 –人道的薬物政策への道

### 流布の為の概要– 2020

[www.romeconsensus.com](http://www.romeconsensus.com)

2005年に、全世界の121の国立赤十字および赤新月社の指導者たちは、人道的薬物政策のローマ同意自公<sup>(1)</sup>を承認し、個人と公衆衛生を優先する人道的および効果的な薬物政策の原則を明確に示したことを指摘します。ローマ2.0宣言は、最初の同意自公を基礎にし、さらに築き上げることを目指しています。又世界中に新規署名者を増やすため、今後10年間の政策案と信頼できる方式での構想を準備し、提供致します。

1961年の麻薬に関する単一条約が採択されて以来、違法薬物の消費と関連する問題が増加していることを認識し：<sup>(2)</sup>

-推定2億7,100万人、つまり15~64歳の世界人口の5.5%が国際条約で禁止されている薬物を使用しています。

-これらの個人のうち、推定3,500万人(ほぼ13%)がいわゆる「薬物使用障害」を患っており、精神的および肉体的な健康、経済的生産性、家族や地域社会に影響を与えています。

-薬物を注射する推定140万人がHIV感染しており、560万人がウイルス性肝炎にかかっており、その為これらの疾患に対し、世界的にそれらの健康対しての反応が損なわれていきます。

-2017年の薬物使用の結果として約585,000人が死亡したと推定され、北米、ヨーロッパなどで過剰摂取による死亡率が上昇し続けています。

-刑務所には世界で1千万人以上の人々がおり、そのうち約5分の1は主に麻薬犯罪に関連する刑に服しています<sup>(3)</sup>。<sup>(4)</sup>

<sup>1</sup> <http://villamaraini.it/attivita/red-cross-and-red-crescent-partnership-on-sustance-abuse/>

<sup>2</sup> <https://wdr.unodc.org/wdr2019/>

<sup>3</sup> [https://www.unodc.org/documents/data-and-analysis/statistics/crime/ACONF222\\_4\\_e\\_V1500369.pdf](https://www.unodc.org/documents/data-and-analysis/statistics/crime/ACONF222_4_e_V1500369.pdf)

<sup>4</sup> <https://wdr.unodc.org/wdr2019/>



-逆に、推定55億人（世界人口の75%）は鎮痛薬やモルヒネなどの麻酔薬を含む、痛みを和らげ又他の治療を行える為の効果的な医薬品へ購入が制限されているか又は購入出来ません。（<sup>5</sup>）

真に効果的な健康に関する薬物政策は適切な根拠に基づく予防の提供、実際的な危害の緩和対策、および実現可能な治療と更生機関の適切な提供を包含するべきであることを認識致しております。これらのサービスを利用できるようにする仕組みには、薬物関連の犯罪に対する有罪または罰の代替手段を含め、優先順位を付ける必要があります。同時に、健康に基づく手掛かりとしては、鎮痛剤やその他の必要に応じて不可欠な医薬品の受け入れを確保する必要があります。

確実な証明、基準設定、およびその証明に基づく制作と実践を追求するための国際的な取り組み、広い範囲のこれらの業務にもかかわらずの我々の目指す要求全く及ばず、他の多くの戦略と計画が矛盾又は一貫していないにも関わらず提供されてる始末です。その多くが証明とは異なっていることを認識してください。私たちは薬物使用に関連する問題を阻止し又それを治療のためにどうすれば良いのかを認識をしていますが、上手いかないのは政治的意思の危機、資金並びに金融の危機又容量の危機であるからです。

2018年に、31の国連機関すべてが初めて「効果的な機関間の協力を通じて国際的な麻薬取締政策の実施を支援する共通の立場」に合意し、それを歓迎し、その一つは政策と計画内容の再調整を呼びかけました。その内容は罰と抑圧、そして効果的な健康と社会的な支援の提供にです（<sup>6</sup>）。

3つすべての薬物規制条約の前文に「人類の健康と福祉」に対する懸念が記載されていること、および国連総会の第30回特別総会の結果文書（UNGASS 2016）が政府に個人、家族、地域社会並びに社会を薬物政策の中心に据え、市民の健康と社会の成果を改善するためのさまざまな対策を実施します（<sup>7</sup>）。

持続可能な開発のための2030議題と持続可能な開発目標を世界の平和と繁栄の共通の青写真として歓迎し（<sup>8</sup>）、これらの地球規模的な目的に貢献し、思想、権力、非難、差別から解放された人道的で効果的な薬物政策への新たな取り組みを確立する又とない機会であることを認識する。それらを歓迎する。

又私達の主張とし、重要なのは、薬物を使用する人々を尊重され尊敬される市民として扱い、共感と支援を得ることです。これは、偏見や差別のない人道的かつ効果的な政策の基本一つであります。それらの進展、実現の可能性、評価など向上は、影響を受けている住民を含まなければなりません、それは薬物を使用している（ま

<sup>5</sup>[http://www.incb.org/documents/Publications/AnnualReports/AR2015/English/Supplement-AR15\\_availability\\_English.pdf](http://www.incb.org/documents/Publications/AnnualReports/AR2015/English/Supplement-AR15_availability_English.pdf)

<sup>6</sup><https://www.unsystem.org/CEBPublicFiles/CEB-2018-2-SoD.pdf>

<sup>7</sup><https://www.unodc.org/documents/postungass2016/outcome/V1603301-E.pdf>

<sup>8</sup><https://www.un.org/sustainabledevelopment/development-agenda/>



たは使用した) 人々や、HIVや肝炎を患っている住民も関与することでもあります。それにより、進展、実現の可能性、評価など情報も浸透致します。

**このローマ2.0同意事項を通じて、署名者である私たちは、各国政府と国際団体および地域団体に以下のことを要請致します:**

その社会での薬物使用へその反応において :

-薬物政策と戦略の最も重要な目的は、人類の健康と福祉を最大化に可能にするすることであることをご承知下さい。

-具体的には、健康の改善、安全性の向上、開発の達成、および人権の保護の観点から薬物政策の目標を策定致します。

-薬物を使用する人々の予防と精神医学への受け入れ業務を妨げているすべての法的および社会的障壁を排除します。

-世界中、痛みの緩和やその他の医療の必要性のための規制薬物への導入を妨げるすべての法的、規制の、政治的、社会的障壁を排除します。

-同意をお願い致します。統制された薬物を所持または消費するためだけに、市民が非難されたり、疎外されたり、罰を受けたりしてはならないこと、薬物を使用するすべての人々が介入または治療を必要としているわけではないことを承諾をお願い致します。。

-必要に応じて、軽微な非暴力の薬物関連の犯罪で逮捕された人々を適切な予防および精神医学業務に受け入れ、それらのひとつとは迂回出来るための包括的な機関を実装します。

-思想や誤報のない、薬物を消費することの特性と危険に関する包括的な証明に基づく並びに事実に基づく情報を、危険のある若者に提供します。

-薬物使用に対する国家政策の対応が、健康、拷問や品位を傷つける扱いから守り、公正な裁判、子どもの権利などに関する人権を侵害しないことを確認する。

-より効果的な予防、害軽減、治療、回復事業に投資し、薬物を使用する人々の犯罪化を終わらせ、より良い社会的、経済的、財政的結果を達成する。

助けを求める人々への対応 :



-これらの人々は感情的、社会的、経済的な問題に苦しんでおり、これらの問題を克服し、前向きな姿勢で共同かつ社会的な貢献をする可能性が多分にあることを認識してください。

-薬物を使用する人々の健康を保護する包括的な証明に基づく精神医学業務と健康の緩和を提供することです。

-薬物を使用する人々に生活を改善するための意欲と勢を与え、必要に応じて社会復帰に向けた実践的な支援を通じて、回復と更生を促進する。

-警察と検察当局が、麻薬を使用する人々を罰から遠ざけ、予防と保健に「目を向ける」ための企画を実施するようにします。

-刑務所当局が、閉鎖環境での予防、緩和、治療、更生、世話や配慮、寛解後療法、社会的配慮および精神科医療機関の利用を少なくとも同等の品質と適用範囲を提供することです。

国際社会は、それが薬物にどのように反応するかについて多くの公約と宣言をしましたが、それらの実施を確実にするための完璧で釈明する義務のある制度がまだありません。専門家団体、市民社会、影響を受ける地域団体はすべて、薬物への対応において重要な役割を果たします。より人道的で効果的な薬物政策を実施するために、より多くの投資と国民の意識を確保するためにあらゆる層で私たちが活用する場合のみに、成功は達成されます。

私たちは協力することで、世界の薬物の状況に関連する回避可能で許容できない健康危害と社会的危害を軽減し、克服することができます。私達並びに我々の政府、および同盟国は、これらの課題を克服するために必要な道具、計画、および証拠をすでに手元に持っています。これらには、とりわけ、予防に関する国際連合機構からの規範的な指針、<sup>9</sup>治療、<sup>10</sup>危害の緩和、<sup>11</sup>過剰摂取の管理、<sup>12</sup>逮捕からの放れる、<sup>13</sup>人権<sup>14</sup>、および医薬品への受け入れの確保が含まれます。<sup>15</sup>

次の10年は私達が結束し、集団でこの課題に立ち向かうことになるでしょう。

<sup>9</sup> <https://www.unodc.org/unodc/en/prevention/prevention-standards.html>

<sup>10</sup> <https://www.unodc.org/unodc/en/drug-prevention-and-treatment/publications.html>

<sup>11</sup> <https://www.who.int/hiv/pub/guidelines/keypopulations/en/>

<sup>12</sup> [https://www.who.int/substance\\_abuse/publications/management\\_opioid\\_overdose/en/](https://www.who.int/substance_abuse/publications/management_opioid_overdose/en/)

<sup>13</sup>

[https://www.unodc.org/documents/UNODC\\_WHO\\_Alternatives\\_to\\_Conviction\\_or\\_Punishment\\_2018.pdf](https://www.unodc.org/documents/UNODC_WHO_Alternatives_to_Conviction_or_Punishment_2018.pdf)

<sup>14</sup> <https://www.undp.org/content/undp/en/home/librarypage/hiv-aids/international-guidelines-on-human-rightsand-drug-policy.html>

<sup>15</sup> [https://www.who.int/medicines/publications/essentialmeds\\_committeereports/en/](https://www.who.int/medicines/publications/essentialmeds_committeereports/en/)